

第3章 国際社会に生きる日本人の自覚

1 日本人の精神風土

2 日本人の倫理観（教科書 P. 79～80）

●清さへのあこがれ [p. 79]

「きれい」と「きたない」＝道徳的な善悪を表現

「きれい」＝もとの正常の状態＝善

「きたない」＝「[]」がふりかかった状態＝悪・罪

→「[]」・「[]」によって「きれい」になる

→自然の清浄な働きにまかせる心情のあらわれ＝「水に流す」

参考：『大祓の詞』、『万葉集』

●日本人の倫理観 [p. 80]

「[]心」＝古代日本人の望ましいあり方

＝底まで透き通って見えるような「心情の純粹さ」

→「私（わたくし）心」をとり去ることによって「おのずから」人間関係相互の
心情的融和が実現

↓ 日本人の伝統的倫理観となる

中世：[]（せいちよく）＝私利私欲のない心

近世以降：[]＝人を欺かず偽らない心

→武士道の「いさぎよさ」にも通じる相手との独特な距離感の倫理も存在



「[]」＝相手へのつつましい気遣い・繊細で情け深い